

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	・太陽の花あずま		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 17日	～	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童が安心して毎日利用したいという環境作りを重点において支援している。殆どの児童が利用を楽しみにしている。	・毎月1度買い物学習を行い、将来社会に出た時に自立できるよう、買い物経験学習を実施している。定期的に学習することでセルフレジの使い方を習得出来てきている。又困った時に店員さんに助けを求められるよう、職員が仲に入り子ども時自信で店員さんに声を掛ける練習もしている。	・地域交流が少ないので今後は就労支援施設の見学を行い、就職の支援にも力をいれていきたい。集団活動の内容の幅を広げていきたい。又保育園や児童館、学童保育の児童と交流を深め人間関係、社会性の向上に繋げていきたい。
2	・専門的職員を配置して、利用児童1人ひとりの支援が必要な事を分析して、職員全体で個別サポートしている。担当制ではなく、様々な職員を配置して支援する事で偏りにない療育を提供できている。	・帰りの会で楽しかった事を1人ずつ聞きみんなの前で発言する機会を作っている。社会に出た時に必要なコミュニケーション能力を養っている。	・保護者交流はしているが年1回では少ないので、夏と冬2回開催予定。又平日公開日を設けて保護者に普段の様子を見学してもらおう機会を設けていきたい。
3	・本人支援 保護者のニーズを第一優先に支援しているので満足していただいていると思う。又常に保護者に寄り添い営業時間外も悩みや相談があれば電話やメールで相談にのっている。	・高学年の児童は、作業訓練や微細活動を個別に取り入れて将来の選択肢を増やせるよう工夫している。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設の周りが畑等なく、野菜や花等育てられないので子供たちに就労体験を実施する事ができない。今後近隣で畑を借りて農作物を育てて食育に繋げたい。	・近くに畑や空き地が殆どない。あっても使用している。	・近隣住民と交流を深める。
2			
3			